

# 人吉ワーケーション体験レポート

(株)ヒューマンテクノシステム  
DX 推進事業部長

## **【日程】**

1. 期間:2021年12月9日(木)~12月12日(日) 3泊4日
2. 場所:熊本県人吉市まち・ひと・しごと総合交流会館「くまりば」
3. 参加者:(株)ヒューマンテクノシステム DX事業部4名
4. 日程: 12/9(木) 17:00-20:00 オリエンテーション、コロナ抗体検査、夕食  
12/10(金) 9:00-12:00 基調講演「カーボンニュートラル時代に向けたICT最新技術と市場の動向について」  
クラウド、セキュリティ、ビッグデータ、5G、DX、SDGs 等  
13:00-18:00 くまりばワーク(日常の業務作業)  
18:00-19:30 人吉市職員のエスコートで市内ナイトハイク  
12/11(土) 9:00-12:00 フリータイム(市内視察:2020/7 豪雨災害復興イベント)  
13:00-16:00 キャンプ設営、通常ワーク  
16:00-18:00 キャンプ撤去、焚火ワークショップ体験、討議  
19:00-21:00 (社団法人ドットリバー関係者との懇親会)  
12/12(日) 9:00-10:30 アンケート他、振り返り等

## **【背景】**

新型コロナウイルスの影響により、新たな生活への変化が生まれてきた。

その一つに、「新しい働き方」が定着しはじめている。

環境や場所にとらわれないリモートワークの拡大、キャリア重視の雇用形態、ワークライフバランスの見直し等であるが一方で、新しい働き方の定着化により、心身のストレス増大、コミュニケーション不足、働くチームとしての生産性に課題も顕在化している。

## **【人吉ワーケーションの目的とテーマ】**

これらの課題解決を実現できる選択肢の一つとして多様な働き方の中から「ワーケーション」の体験を通して実証する。自然に囲まれた日本三急流・球磨川の畔「くまりば」で日頃のストレスから解放され「人間らしく働くとは何か?」のテーマのもと「自然で五感を刺激」、「チームビルディング」、「コミュニケーション活性化」、「働くことの楽しさを実感」を掲げ自然との対話の中で日常業務の生産性を維持向上をさせる。

### 【実証実験のデータ収集方法】

ワーケーション実施期間中は効果測定の手段として、参加全員にウェアラブル社からリストバンドとスマホが提供され、就寝時間帯を除く日常活動中の健康や活動量の測定が行われた。

この実施目的や測定結果の開示は無いが「健康や活動量の見える化」分析により今後のマーケティングソリューションへの重要な情報になるものと思う。

又、指先の脈波を測定するセンサーを使って合計8回(基本的にはワーク時とイベントの前後)の「ストレス/リラククス度」や「心の柔軟性」をタブレット端末でメンタルコンディション(心のバランス)をチェックした。

何れもワーケーションの効果測定には欠かすことができないチェックであり参加者全員が高い興味を示した。

### 【プログラム実践の成果と感想】

今回の人吉ワーケーションは、当事業部(営業部門)の限られた人数(4人)に対する短期間(3日)の実証実験であったが、参加者全員が日常のストレスを減少させ高いモチベーションの持続で業務を遂行し日常の生産性を維持・確保する事ができた。(12月度受注実績に成果が見られた)

基調講義/討議(3時間)から「カーボンニュートラル」実現に向けて求められる産業や社会変革の実態を最新技術と市場動向」の視点からレクチュアを受け、業界の知識レベルを向上させた。

キャンプ設営による「チームビルディング」において、お互いが知恵を出し合い、一体感の共有によるコミュニケーション力アップを実現した。

キャンプ撤去後の「焚火ワークショップ」は事務局サポートスタッフと一緒に「人吉ワーケーション」の成果/感想を各々が様々な角度から語り合うことによりデザイン思考を共有した。

その後、2日間の実践ログラムを終えた参加者は事務局との「夕食懇親会」に臨み、別れを惜しみながらも事務局スタッフと再会の約束を交わすほどの盛り上がりを見せてお開きとなった。

ワーケーションのプログラムと直接関係は無いが 3 日間の滞在中、地元「人吉」の人間像に感動したのは私一人でないだろう!

2020年7月豪雨による球磨川の氾濫で、多数の犠牲者と、市内の大半の店舗・住居が流され、甚大な被害を受け、今なお復興真ただ中であるが街中で会う全ての人が明るく前向きだった。事務局の若い職員の一人は、家は全流失し残ったものは自分の体だけだった! と笑ってみせた。何という「生命力」! 何処にその前向きな姿勢とエネルギーが有るのだろうか?

その時、私が幼少のころ親父がよく口ずさんでいた「五木の子守唄」を思い出した。

この詩の心を今更ながらここ人吉で学ばせて頂き、大きなエネルギーと心の財産となった。

今後もワーケーションを通じて「地域創生」と「HTS の新たなビジネスモデルづくり」に少しでも役立つよう尽力したいと決意を新たにした。

### **【所感】**

2019年に「働き方改革関連法」が施行された直後に新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、その対策としてワークライフバランスの見直しが図られる中、多様な働き方が浸透し始めている。例えば、アグリワーケーション……

ワーケーションも大手企業中心に実証実験から実践段階に突入しており、既に観光資源をベースにしたワーケーションが先行していると思われるが、今後は農業資源をベースにしたワーケーションが加速するのではないかと考える。

将来は、地域創生と社員の福利厚生や人材育成を目的とした【HTSファーム】が実現する事を夢見ている。

### **【関連写真】**

- ① ワケーション会場 くまりばの外観
- ② 基調講義&ディスカッション
- ③ 同上
- ④ ランチタイム 復興仮設店舗
- ⑤ 通常ワーク風景
- ⑥ 人吉あかりのハイク
- ⑦ 同上
- ⑧ チームビルディング キャンプ設営
- ⑨ 同上
- ⑩ テント完成 ほっと一息
- ⑪ 焚火ワークショップ
- ⑫ 事務局とのお別れ懇親会

以上。

【関連写真】

①会場 くまりばの外観



②基調講義&ディスカッション(1)



③ 基調講義&ディスカッション(2)



④ランチタイム 復興仮設店舗



⑤通常ワーク風景



⑥人吉あかりのハイク(1)



⑦人吉あかりのハイク(2)



⑧チームビルディング  
キャンプ設営(1)



⑨チームビルディング  
キャンプ設営(2)



⑩テント完成 ほっと一息



⑪ 焚火ワークショップ



⑫事務局とのお別れ懇親会



